

## 焼津体育館再整備検討委員会 第2回会議

- 1 日 時 令和元年9月26日 10:00～10:50
- 2 会 場 焼津市役所会議室棟 101号室
- 3 出席委員 清水 栄男（元自治会連合会長）  
竹内 孝一（焼津第2自治会長）  
下村 勝彦（焼津市体育協会副会長・施設対策委員長）  
小林 敏之（焼津市スポーツ推進委員長）  
斎藤 剛（静岡福祉大学）  
大河 直子（一般公募）
- 4 事務局 見原 照久（交流推進部長）  
松永 年史（スポーツ課長）  
鈴木 宏尚（スポーツ交流担当係長）  
杉山 透（スポーツ交流担当）  
松本 達哉（スポーツ交流担当）  
海野 芳幸（株式会社地域まちづくり研究所）  
武下 公美（株式会社地域まちづくり研究所）
- 5 次 第 (1) あいさつ  
(2) 議事  
①現焼津体育館について（現況説明）  
②アンケート結果について（概要説明）  
③新焼津体育館について（建設場所、機能の概要説明）  
(3) 意見聴衆  
(4) 第3回検討委員会について（令和元年11月実施予定）
- 6 会議録 ①②③の説明のあと、意見交換を行った。  
意見交換の概要は次のとおり。

### 【概要】

斎藤委員： アンケートの有効回収数は532票であるが、回収率はどれくらいか。

事務局： 約4割弱である。

斎藤委員： 社会体育施設利用団体にアンケート配布しているが、競技団体ごとの回収の割合は把握しているか。傾向がみれるとよい。

事務局： 特に競技団体ごとの集計はしていない。

- 斎藤委員： 結論として、新たな施設の整備に向けた方向性は、一言でいえばどういうことか。
- 事務局： 今日には調査結果と施設の現況について報告させていただいた。これから方向性を検討していく段階であるため、明確なコンセプトは整理していない状況。
- 斎藤委員： アンケート結果をみると、利用者が施設をより良くする視点で意見を述べており、焼津体育館がシーガルドームとは差別化された、身近で利用しやすい所であることが感じられた。また、設備の古さに関する意見が主だったように感じる。そのほか、駐車場やトレーニング設備、エアコンの問題などがあつたと思う。
- 方向性のお話であるが、運動をしない人へのアプローチの視点は必要であると思う。多様な人たちが利用できるようなユニバーサルデザインや利用料金についても考える必要がある。
- アンケートでほとんど利用なしが47%おり、この人たちの考え、意見が気になるのでクロス集計の結果も見たい。
- 事務局： 今回は用意できていない。
- 小林委員： スポーツ施設の分布図をみると、焼津地区にはスポーツ施設が民間含めて結構あるのでその辺も気になった。総合体育館のトレーニング施設はどれくらい利用しているのか。サンライフにもある。トレーニングルームは必要なのかどうか。
- 焼津は相撲が盛んであるので、一角にあつてもよいと思う。ダンスはフロアでできればよいと思う。売店や休憩所に関する意見もあつたが、シーガルドームにないような設備をつくっても仕方ないと思う。自動販売機は必要であるが、観覧席で飲食できればよいのではないか。運動を目的としているので、憩いの的なものは必要ないように思う。
- 事務局： 民間施設のホリデイが近くにありながら、トレーニング場がほしいという意見が多かつたので、気になっている。
- 下村委員： アリーナ（シーガルドーム）のトレーニング室の活用状況はわかるか？
- 事務局： 大体年間で3,000～4,000人くらい利用者がいる。昼間は少ないが、夜は社会人が会社帰りによるなど利用者が多い。
- 清水委員： ホリデイは夜の7時以降、人でいっぱいになる。
- 小林委員： トレーナーがいるような民間スポーツ施設とは、また違う感覚であると思う。公共が実施する教室の機会を増やせば、利用者が増えると思う。個人利用も大事だが、団体に利用してもらうことも必要だと思う。
- 竹内委員： 焼津地区では、はじめ焼津体育館が撤去される話だったので、建て直しの要望を出している。地区の代表の立場としては、施設は現在の場所、もしくはその前の中央広場でお願いしたい。また、焼津中学が災害時の避難所に指定されているが、収容人数も限られているため、新体育館が避難所として利用できるようお願いしたい。
- 大河委員： 地元で子ども3人を育ててきた。個人ではあまり利用していないが、PTAでインディアカで使ったり、幼稚園の運動会や少年団の運動会に使ったりしてきた。子育ての視点では、オムツを変えるスペースやトイレが清潔であること、小さな子どもを連れている場合に飲食が可能な休憩スペースがあると楽になる。今まで体育館を使っていなかった人が使いたいと思える施設にするためには、清潔さや使い勝手の良さを考えてほしい。設備が充実しているから子どもたちの親ぶくを深めるために

使いたいと思ってもらえると、今まで使ってなかった人たちの需要が増えると思う。

小林委員： 先ほど、防災の話があったが、屋上にデッキがあって眺望が良ければ、施設に関心をもつ人もいるかもしれない。昼間の稼働が少ないので、子供が遊びに来れる所があるとよい。飲食は外で近くにあるとよいが。人が来たいと思えるような状況をつくれるとよい。

下村委員： 活用を増やして利用者が増えれば、十分に駐車場が確保されている必要がある。現体育館は駐車場が少ない。

建物については3階建てにしてもらい、プールを3階にしてもらえればありがたい。ただ、埋蔵文化財包蔵地になっているため、基礎を深く掘れるのかという問題がある。

武道についても、常設の畳の柔道場がほしいとか、剣道は床はバネが無いとだめとか、弓道場もほしいとか、いろいろな要望があがっており、全て聞くことは難しいが、武道も行えるような施設を検討してほしい。

清水委員： 国際的全国的な大会ではシーガルドームを使用して、焼津体育館は市民が憩い、使えるような存在でよいと思う。アンケートの結果をみると、立派なものをつくってもらいたいような印象も受けるが、ある程度取捨選択をしていく必要がある。

また、交通量が多い場所であるので、通りすがりの人も災害時に避難できる施設になるとよい。

事務局： 資料3に建設場所の候補地5箇所があるが、先ほどの説明やアンケート結果を踏まえると、1番（現・焼津体育館）2番（焼津中央広場ほか）が最有力候補になる。決定はしないがこの会議で方針だけでも決めたい。特に異論はないか。

— 異論なし —

清水委員： 2番（焼津中央広場ほか）の場合、1番（現・焼津体育館）が空くことになるが、跡地を駐車場として使えるのか。

事務局： そういった跡地の活用についても検討していく。

竹内委員： 現在、中央広場でラジオ体操を行っている。やれなくなってしまうので、新しい体育館が出来た場合に、施設内でできるようにしてもらえるとよい。

事務局： 神社の裏にも広場があるが、どのように使われているのか。

竹内委員： 自治会としては年1回の盆踊り大会とグランドゴルフもやっている。中央広場でもグランドゴルフをやっている。

事務局： 中央広場も現在色々な利用があり、建設する場合使えなくなるので、その点も考慮していかなければならない。

#### 【今度の予定について】

アンケート結果と本日皆さんから頂いたご意見をまとめまして、その後、建設や運営をする企業側のご意見をいただくため、企業ヒアリングを実施する。市民目線と企業目線の両方の意見を合わせた形で検討していく。

第3回検討委員会は11月を予定している。日程が決まり次第、後日連絡させていただく。

以上